

|       |  |            |
|-------|--|------------|
| 日時・場所 | 平成28年8月22日（月）  | 8時45分～ 庁議室 |
| 出席者   | 山仲市長、川端教育長、立入議会事務局長、寺田政策調整部長、大藤政策調整部政策監、遠藤総務部長、上田市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、白井環境経済部長、藤池教育部長、野玉会計管理者、服部広報秘書課長、事務局（企画調整課） |            |

## 1. 市長指示事項

- 先週土曜日、貧困や生活困窮の問題をテーマに、第2回のフォーラム野洲2016を開催し、多くの方の参加があった。現場で様々な取組をされている方、それを理論的に整理されている方、地元で活動されている方による活動報告、意見交換をしていただいた。本フォーラムは通常のフォーラムとは異なり、様々な活動をしている人と接点を持つ機会と捉えているので、単に話を聞くだけではなく、様々な人々と交わるという前提で関わってもらいたい。本フォーラムを仕事の質を高めるための契機としてほしい。
- 施設利用においてトラブルがあった旨の市長への手紙が届いた。当施設を利用するための回数券は、大人については1枚600円、12枚で6,000円で販売し、子どもについては1枚300円、12枚で3,000円で販売しているが、現場対応により、ある時期まで、子ども2人を600円の回数券1枚で利用してもらおう取り扱いをしていた。しかしその後、子どもが2人なら300円の回数券を2枚買ってもらうべきだとして取り扱いを変更したとのことである。これを受け、600円の回数券で子ども2人が利用できると思って回数券を購入した方から返金をしてほしいと申し出があったが、ルールに反すると断ったためトラブルになったとのことである。確かに、他の施設やコミュニティバスも同様、回数券は払い戻しをしないこととなっており、ルールを厳格に適用することは大切だが、担当職員に確認したところ、600円の回数券にはどこにも大人用との記載がなく、300円の回数券にも子ども用と記載されておらず、さらには、有効期限の記載もないことが判明した。つまり、金券と同様である。600円の回数券は大人用で子ども2人の利用は認められないとしたルールの変更が正しかったのか。本件はあくまでも一例であり、他にも同様の事例が数多くあると思うが、ルールは随時検証を重ね、不適正であれば改めるなど、より良いものにするよう努めること。

## 2. 報告事項

### ① 閉庁日における駐車場の取り扱いについて

〔所管： 総務部〕

先般、閉庁日に来庁者が利用できる駐車場がない旨の市長への手紙が届いた。市役所敷地内には里道が存在しており、完全な閉鎖ができないため、従来から市役所利用者でないと思われる車両によって、土曜日・日曜日等の閉庁日に駐車場がほぼ満杯になる状況となっている。今後、閉庁日における駐車場利用対策として、来庁者用11台分及び車椅子等利用者用7台分の駐車場を確保し、他の駐車場は駐車されないよう施錠及び赤色コーンの設置を実施する。

→そもそも敷地内に里道が存在した状態で適切な処理をせず、庁舎を改修したことが問題である。

本対応は、過去の経緯に問題があるという前提で、一定の秩序を保つため、最小限の暫定対応という位置付けにしておくこと。

→車椅子等利用者用のスペースにルールに反して停めた車には注意喚起文を貼るなど、適切に対応すること。

→有料化の意見もあるが、現状では困難である。

→市長への手紙への回答を行うとともに、有料は困難、市役所利用者の駐車スペースの確保、利用者でない方の車両の駐車を制限するというお知らせを広報等を行うとともに、議員に対しても全員協議会で周知するなど、本対応の実施に向けての手続き過程においては透明性を保つこと。よって、本対応は上記手続き後に行うこと。

### ② 平成28年度自衛消防訓練大会への参加について

〔所管： 総務部〕

本大会は、湖南防火保安協会の会員事業所における自衛消防隊員の育成強化、防火意識の高揚を図る目的で、平成26年度まで同協会の南支部（草津市・栗東市）にて開催されていた。昨年度より北支部（守山市・野洲市）にも参加枠を拡大されたことから、本市も消火器の部に初参加した。今年度は10月12日（水）の開催となっており、消火器の部及び屋内消火栓の部への参加を予定していることから、職員の参加をお願いしたい。参加者の報告期限は8月31日（水）まで。

③ 立地適正化計画の基本方針（案）について

〔所管： 都市建設部〕

本件は、8月30日に開催する市都市計画審議会に付議する。それに先立ち、各分野の計画・施策と調整を図るため報告する。基本方針（案）は、「“つながり”を軸とした 住みたい・住み続けたいと思えるまちづくり」とした。

→平成32年に予定している都市計画マスタープランの見直しにおいて、本基本方針は都市計画マスタープランの一部とみなされる点を踏まえ、整理していく。

→JR野洲駅～篠原駅間の新駅の位置付けはどう捉えているか。

→新駅については都市計画マスタープランや総合戦略においても位置付けがあり、事業化に向けた展開を踏まえ、整理をしていく。

→公共交通網の拡充について今後どのように進めていくのか。

→公共交通網で拠点をつなぐ方針としては、コミュニティバスの増強など公共交通施策について、関連する都市計画課、生活安全課、企画調整課で協議のうえ、検討を進める。

→本件は議会の議決案件ではない。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- ・ 8月28日（日）、平成28年度総合防災訓練を実施するので協力をお願いします。

5. 次回部長会議

8月29日（月）8時45分～ 庁議室